



図 位置図

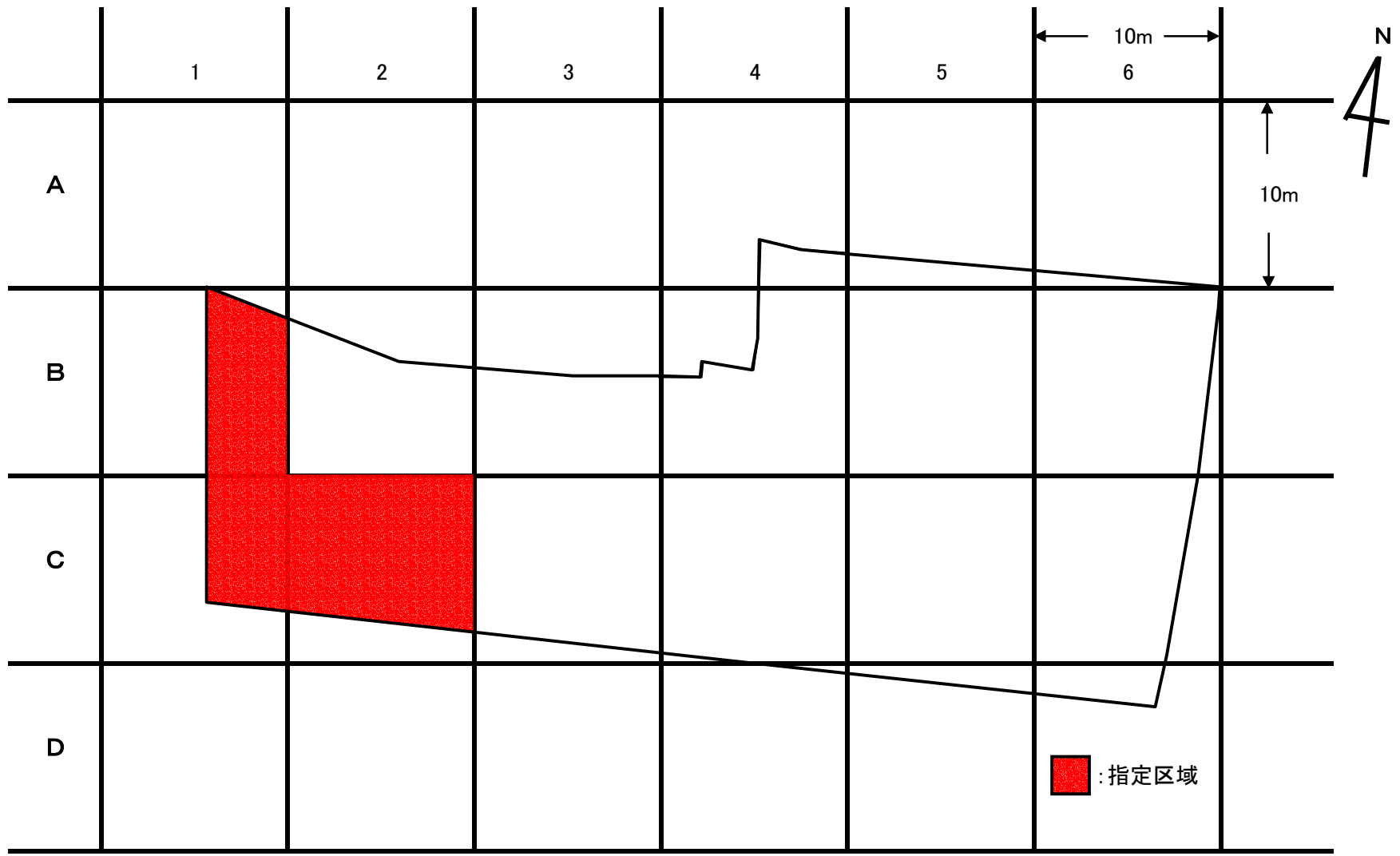


図 指定区域

調査方法及び調査結果

1 調査実施日

資料採取 平成 18 年 5 月 25 日

分 析 平成 18 年 5 月 25 日～6 月 5 日

2 調査方法

(1) ふっ素及びその化合物(第二種特定有害物質)について

汚染のおそれがあると認められる 6 単位区画(10m メッシュ)それぞれにつき 1 地点及び汚染のおそれが比較的少ないと認められる 1 区画(30m メッシュ)内の 5 地点(複数地点)混合で、計 7 区画の表層土壌(深さ 50cm まで)について、土壌溶出量及び土壌含有量調査を実施した。

土壌の採取は、表層の土壌(地表から 5cm まで)及び深さ 5～50cm までの土壌をそれぞれ深さ方向に均等に採取した。

(2) ジクロロメタン(第一種特定有害物質)について

汚染のおそれがあると認められる 6 単位区画(10m メッシュ)及び汚染のおそれが比較的少ないと認められる 1 区画(30m メッシュ)それぞれにつき 1 地点、計 7 区画で地表から概ね 1m の深度で土壌ガス調査を実施した。

土壌ガスの採取は、調査地点においてボーリングバーを打ち込み採取孔を穿孔し、孔内に保護管、採取管を挿入し、採取バック法により、0.8～1.0m 下の地点の土壌ガスを採取した。

3 分析方法

(1) 土壌溶出量調査

環境省告示第 18 号(平成 15 年)による方法。

(2) 土壌含有量調査

環境省告示第 19 号(平成 15 年)による方法。

(3) 土壌ガス調査

環境省告示第 16 号(平成 15 年)による方法。

4 調査結果

調査区画	ふっ素及びその化合物		ジクロロメタン
	土壌溶出量 (mg/L)	土壌含有量 (mg/kg)	土壌ガス (vol ppm)
B1	<u>0.86</u> [約 1.08 倍]	80	不検出
B2	0.45	50	不検出
B3	0.62	30	不検出
C1	<u>130</u> [162.5 倍]	<u>6300</u> [約 1.58 倍]	不検出
C2	<u>2.2</u> [2.75 倍]	220	不検出
C3	0.64	30	不検出
B5 (A4,B4,C4,C5)	0.74	30	不検出
指定基準	0.8	4000	不検出

(下線が基準超過。[]内は超過倍率。)

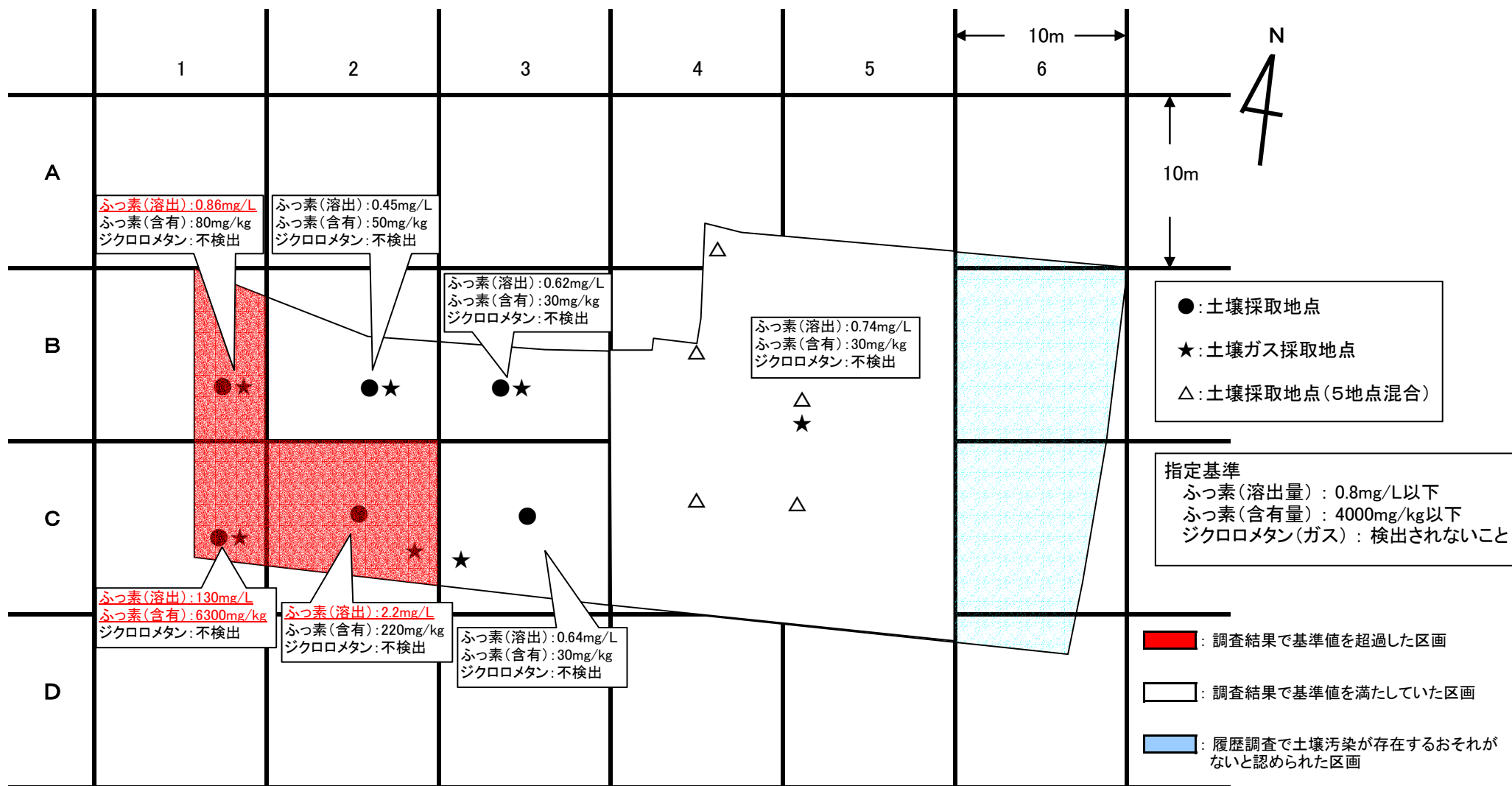


図 調査結果(位置図)